2027年度

入学試験要項

一般選抜
共通テスト利用入試

総合文化学部　総合文化学科

日本文化領域
国際文化領域
文化史領域

地球市民学部　地球市民学科

地域共生領域
ソーシャルデザイン領域

清泉女子大学

目　次

一般選抜・共通テスト利用入試の特徴

入試日程ごとの特徴 …… 1
地球市民学部「派遣優遇」について …… 2
入学金半額免除について …… 2

清泉女子大学の入学試験を受験される方へ

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）について …… 3
出願から合格発表までの流れ …… 3
受験上・就学上の特別な配慮について …… 3

入試の詳細

入試概要
1. 募集学部（学科）・領域、募集人員 …… 4
2. 入試日程 …… 5
3. 併願および併願割引 …… 6
4. 英語外部検定試験の換算点 …… 7
5. 調査書の利用および学内併願について …… 8
6. 地球市民学部公共創造領域の展開（2027 年 4 月予定）について …… 8
一般選抜（特待入試）［前期］（1/28） …… 9
一般選抜［中期］（2/14） …… 11
一般選抜［後期］（2/27） …… 13
共通テスト利用入試［特待入試（前期）］［後期］ …… 15

出願・合格発表・入学手続について

出願について
1. 出願資格 …… 18
2. 出願期間・出願上の注意事項 …… 18
3. 出願書類 …… 19
4. 入学検定料 …… 21
合格発表・入学手続について
1. 合格発表 …… 22
2. 入学手続 …… 22
3. 学生納付金 …… 23
4. 入学辞退 …… 24
5. 入試成績の開示 …… 25

その他

注意事項 …… 26
各種お知らせ …… 29
お問い合わせ先 …… 29

一般選抜・共通テスト利用入試の特徴

入試日程ごとの特徴

自由に併願することができます。
入学検定料の併願割引があります。

一般選抜（特待入試）［前期］（1/28）

★３つの方式があり、２～３教科で受験できます。

・３教科受験・最高得点教科 1.5 倍方式
　３教科を受験し、一番高得点の教科を 1.5 倍にして判定します。

・３教科受験・高得点２教科採用方式
　３教科を受験し、そのうち高得点の２教科で判定します。

・英検方式
　本学の指定した英語外部検定試験で一定のスコアを取得している場合、そのスコアに応じて本学の「英語」の試験の点数に換算します。英語外部検定試験のスコアを換算するため、国語と地理歴史の２教科のみで受験できます。

★地球市民学部において派遣優遇の特典があります（P. ２参照）。

★正規合格者の上位 20%を上限として、入学金半額免除の特典があります。

★合格後の入学手続期間を長めに設定しています。

合格後に入学金を納付する期間（第１次入学手続期間）を長めに設定（２月 26 日（金）まで）しています。

一般選抜［中期］（2/14）

★２つの方式があり、１～２教科で受験できます。

・２教科方式
　国語と外国語で受験できます。

・英検方式
　国語と英語外部検定試験の換算点で受験できます。

一般選抜［後期］（2/27）

★講義（30 分）＋志望理由作文（60 分）を軸に、３つの選考方法から選択できます。

①共通テスト（１科目）方式
②英検方式
③口頭試問（個人面接）方式

★共通テスト（１科目）を利用できます。

共通テスト（１科目）方式では、国語、英語、日本史、世界史の中から高得点の１科目と、志望理由作文（講義参加）で合否判定します。

★英語外部検定試験のスコアが活かせます（換算点）。

英検方式では、英語外部検定試験で一定のスコアを取得している場合、そのスコアに応じて本学の「英語」の試験の点数に換算します。

共通テスト利用入試（特待入試）［前期］・［後期］

★大学入学共通テストの成績を利用します。本学独自の試験はありません。
★方式により２～５科目で受験できます。
自分に有利な配点方式を選ぶことができます。
★地球市民学部の前期において派遣優遇の特典があります（P. ２参照）。
★正規合格者の上位 20%を上限として、入学金半額免除の特典があります（前期のみ）。
★共通テストの自己採点後でも出願できます。
★後期は、３月上旬まで出願を受け付けます。
【出願締切日】３ 月 5 日（金）消印有効
※出願締切日の正午までに Web 登録を完了し、出願書類を郵送する必要があります。

地球市民学部「派遣優遇」について

一般選抜（特待入試）［前期］･共通テスト利用入試（特待入試）［前期］において、地球市民学部を受験して優秀な成績を修め、且つ希望した者に「派遣優遇」の特典を付与します（合格者に応じて 10 名程度まで）。

対象者となった場合、入学後の海外・国内協力隊派遣および観光キャリアインターンシップについて、派遣前の学内選考において 2 段階の優遇措置を受けることができます。

対象者には合格通知において「派遣優遇採用」と表示します。

コース／プログラム名	「派遣優遇採用」となった場合の優遇措置		備考
	研修受講時の学内選考	研修受講後の学内最終選考	
JICA 海外協力隊	無試験で受講可能	加点措置	派遣費用は JICA 負担
国内地域おこし協力隊	無試験で受講可能	加点措置	協力隊としての報酬があるため、 実質費用負担なし
観光キャリア	無試験で受講可能	加点措置	受け入れ先機関が費用を負担するため、 実質費用負担なし

［注意］
・研修受講選考および研修受講後の学内最終選考の２段階で優遇されますが、派遣を約束するものではありません。
・派遣先の政治経済的条件の変更により、海外・国内協力隊派遣および観光キャリアインターンシップが中止される場合があります。
・派遣先については、入学後、学内選考の際に改めて申請することとなります。また、入試の時点で派遣優遇に採用されなかった場合でも、入学後に各研修コースにエントリーすることができます。
・日本国籍を有しない方は、JICA 海外協力隊に参加することはできません。

入学金半額免除について

一般選抜（特待入試）［前期］、共通テスト利用入試（特待入試）［前期］の正規合格者のうち、上位 20%を上限として、入学金を半額免除します。

清泉女子大学の入学試験を受験される方へ

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）について

以下の Web サイトを確認してください。
▶ https://www.seisen-u.ac.jp/overview/information/education/3policy.html

出願から合格発表までの流れ

本学公式 Web サイトよりインターネット出願専用サイトにアクセスし、出願情報の登録、および入学検定料を納付の上、出願期間内に郵送にて出願書類を提出してください。出願情報登録前に P.18「(2) 出願上の注意事項」も合わせて確認してください。

出願の流れは次のとおりです。出願書類（写真・調査書等）を準備した上で、STEP1 に進んでください。

STEP 1　本学公式 Web サイトより、インターネット出願専用サイトにアクセス

※各入試制度の出願開始（Web 登録開始）日の 10 時より、出願情報を登録できます。
▶ https://www.seisen-u.ac.jp/admissions/

STEP 2　出願情報の選択・基本情報の入力・写真のアップロード

STEP 3　入学検定料（受験料）のお支払い

STEP 4　宛名シート・志願シート等の印刷

STEP 5　出願書類の郵送（「速達・簡易書留」または「レターパックプラス」）

STEP 6　インターネット出願専用サイト内のマイページより受験票をダウンロードおよび印刷

※受験票公開日時

一般選抜［前期］	1 月 25 日（月）15 時	共通テスト利用入試［前期］	2 月 9 日（火）15 時
一般選抜［中期］	2 月 10 日（水）15 時	共通テスト利用入試［後期］	3 月 9 日（火）15 時
一般選抜［後期］	2 月 24 日（水）15 時		

STEP 7　受験

STEP 8　合格発表　※合格発表日の 15 時にマイページにて発表

受験上・就学上の特別な配慮について

疾病・負傷や身体等に障がいがあるために、受験上または入学後に特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、下記の期限までに、必ず入試課に相談してください。疾病・負傷や障がいの状況によっては受験や就学が困難である可能性があります。また、相談内容によっては事前に面談を実施する場合がありますが、この面談は、特別な配慮の内容等について確認するためのものであり、**合否とは一切関係ありません。**

なお、期限後の申し出については受験上の特別な配慮ができない場合があります。不慮の事故等により、この申出期限や出願後に、特別な配慮が必要となった場合も、すみやかに入試課に相談してください。また、日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日に使用する場合も、試験場設定等の関係上、必ず事前に相談してください。

＜申出期限＞ 11 月 30 日（月）10 時
＜相談時間＞ 平日 9:30 ～ 16:30 ※所定の休業日を除く
＜問い合わせ先＞ 入試課　TEL：03-5421-3462

入試の詳細

入試概要

1．募集学部（学科）・領域、募集人員

入試日程	特典		入試方式	学部（学科）・領域、募集人員				
				総合文化学部（総合文化学科）			地球市民学部（地球市民学科）	
	派遣優遇 *1	学費免除 *2		日本文化領域	国際文化領域	文化史領域	地域共生領域	ソーシャルデザイン領域
一般選抜（特待入試）［前期］	○	○	３教科受験・最高得点教科 1.5 倍方式 ３教科受験・高得点２教科採用方式 英検方式	16	16	20	14	10
一般選抜［中期］			２教科方式 英検方式	8	8	10	6	4
一般選抜［後期］			共通テスト（１科目）方式 英検方式 口頭試問（個人面接）方式	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
共通テスト利用入試（特待入試）［前期］	○	○	２科目・傾斜配点方式（英検利用可） ３科目・フラット配点方式（英検利用可） ４科目・傾斜配点方式（英検利用可） ５科目・フラット配点方式（英検利用可）	2	2	2	2	2
共通テスト利用入試［後期］			２科目・傾斜配点方式（英検利用可） ３科目・フラット配点方式（英検利用可） ４科目・傾斜配点方式（英検利用可） ５科目・フラット配点方式（英検利用可）	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

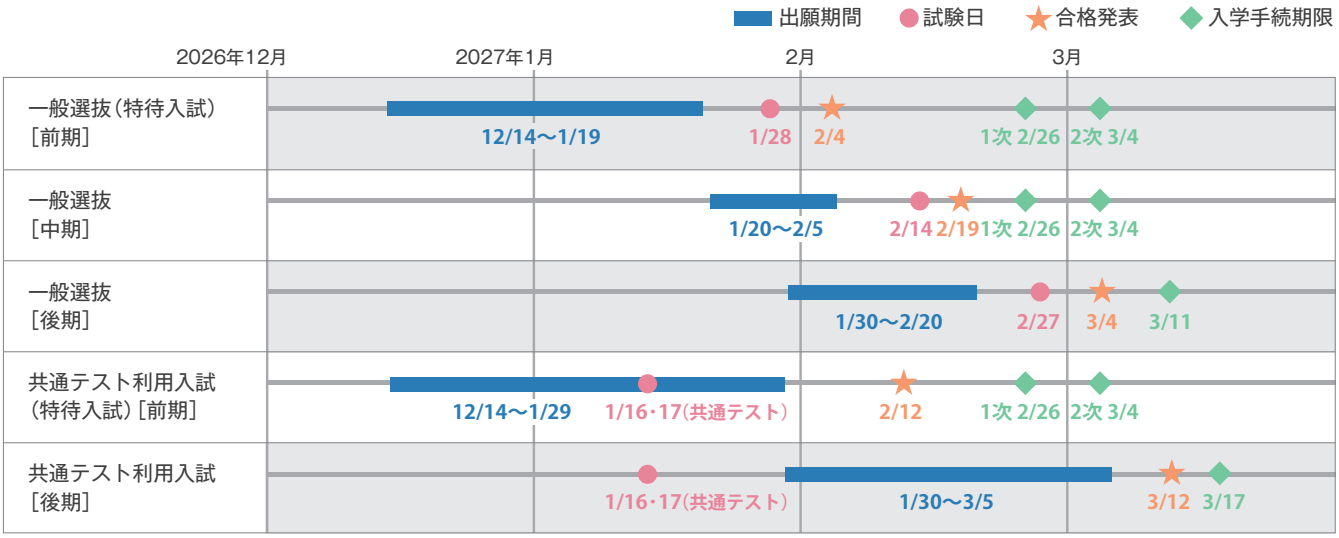
※国際文化領域では、出願時に専攻言語（英語またはスペイン語）を選択してください。
※選考の結果、本学で学修する能力に満たないと判断した場合、合格者数が募集人員を下回ることがあります。
※この他に、地球市民学部に公共創造領域を展開します（2027 年 4 月予定）。詳細は P.8「6. 地球市民学部公共創造領域の展開（2027 年 4 月予定）について」を参照してください。
＊1 地球市民学部「派遣優遇」について
一般選抜（特待入試）［前期］・共通テスト利用入試（特待入試）［前期］において、地球市民学部を受験して優秀な成績を修め、且つ希望した者に「派遣優遇」の特典を付与します（合格者に応じて 10 名程度まで）。詳細は P.2 を参照してください。
＊2 学費免除について
一般選抜（特待入試）［前期］・共通テスト利用入試（特待入試）［前期］の正規合格者のうち、上位 20%を上限として、入学金を半額免除します。

2．入試日程

※出願手続は専用 Web サイトに必要な情報を登録した後、必要な書類を郵送して完了となります。
※出願締切：Web 登録は締切日の正午まで、書類郵送は締切日の消印有効です。

入試区分		出願期間（Web・郵送）	受験票公開日*	試験日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期	2026/ 12/14(月) ～ 2027/ 1 /19(火)	1 /25(月) 15:00	1/28(木)	2 / 4 (木) 15:00	1次 2 / 4 (木)～2 /26(金) 2次 2 /27(土)～3 / 4 (木)
	中期	2027/ 1 /20(水) ～2 / 5(金)	2 /10(水) 15:00	2/14(日)	2 /19(金) 15:00	1次 2 /19(金)～2 /26(金) 2次 2 /27(土)～3 / 4 (木)
	後期	2027/ 1 /30(土) ～2 /20(土)	2 /24(水) 15:00	2/27(土)	3 / 4 (木) 15:00	3 / 4 (木)～3 /11(木)
共通テスト利用入試	前期	2026/ 12/14(月) ～ 2027/ 1 /29(金)	2 / 9 (火) 15:00	1/16(土)・17(日) 共通テスト試験日	2 /12(金) 15:00	1次 2 /12(金)～2 /26(金) 2次 2 /27(土)～3 / 4 (木)
	後期	2027/ 1 /30(土) ～3 / 5(金)	3 / 9 (火) 15:00		3 /12(金) 15:00	3 /12(金)～3 /17(水)

＊受験票は、インターネット出願のマイページより、ダウンロード・印刷のうえ、試験当日、持参してください。
※インターネットで出願情報登録をしただけでは出願は完了しません。出願期間内に必要書類を必ず郵送してください。
※第１次入学手続期間までに入学金を、第２次入学手続期間までに授業料・施設費・必修科目実習費（地球市民学部のみ）を納入してください。
※一般選抜（後期日程）・共通テスト利用入試［後期］の場合、入学金・授業料・施設費・必修科目実習費（地球市民学部のみ）を締切日までに納入してください。
※郵送出願は、締切日の消印が有効です。



3．併願および併願割引

<table>
<tr><th rowspan="2">日程</th><th rowspan="2">方式</th><th rowspan="2">学部や領域をまたいだ併願</th><th rowspan="2">受験方式や日程をまたいだ併願</th><th colspan="2">併願割引</th><th rowspan="2">併願条件</th></tr>
<tr><th>1出願目</th><th>2出願目以降</th></tr>
<tr><td rowspan="3">一般選抜
（特待入試）
［前期］</td><td>3教科受験・
最高得点教科1.5倍方式</td><td rowspan="3">可能</td><td rowspan="7">可能</td><td rowspan="7">35,000円</td><td rowspan="7">＋5,000円
で1出願追加</td><td rowspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>3教科受験・
高得点2教科採用方式</td></tr>
<tr><td>英検方式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一般選抜
［中期］</td><td>2教科方式</td><td rowspan="2">可能</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>英検方式</td></tr>
<tr><td rowspan="3">一般選抜
［後期］</td><td>共通テスト（1科目）方式</td><td rowspan="3">同じ学部内
でのみ可能</td><td rowspan="3">後期日程内の併願は、同一学部内に限る
※同じ方式の組み合わせ可
※異なる方式の組み合わせ可</td></tr>
<tr><td>英検方式</td></tr>
<tr><td>口頭試問（個人面接）方式</td></tr>
<tr><td rowspan="4">共通テスト
利用入試
（特待入試）
［前期］</td><td>2科目・傾斜配点方式</td><td rowspan="8">可能</td><td rowspan="8">可能</td><td rowspan="8">15,000円</td><td rowspan="8">＋5,000円
で1出願追加</td><td rowspan="4">なし</td></tr>
<tr><td>3科目・フラット配点方式</td></tr>
<tr><td>4科目・傾斜配点方式</td></tr>
<tr><td>5科目・フラット配点方式</td></tr>
<tr><td rowspan="4">共通テスト
利用入試
［後期］</td><td>2科目・傾斜配点方式</td><td rowspan="4">なし</td></tr>
<tr><td>3科目・フラット配点方式</td></tr>
<tr><td>4科目・傾斜配点方式</td></tr>
<tr><td>5科目・フラット配点方式</td></tr>
</table>

※国際文化領域における専攻言語の併願について、
・同一日程内でも受験方式が異なる場合、英語専攻とスペイン語専攻を併願可能です。
・同一受験方式内での英語専攻とスペイン語専攻の併願はできません。
※一般選抜と共通テスト利用入試をまたいだ併願割引はありません。

例）

一般［前期］3教科受験・最高得点教科1.5倍方式 → ¥35,000

一般［前期］3教科受験・最高得点教科1.5倍方式 ＋ 一般［前期］3教科受験・高得点2教科採用方式 → 35,000+5,000 ＝ ¥40,000

一般［前期］3教科受験・最高得点教科1.5倍方式 ＋ 一般［前期］3教科受験・高得点2教科採用方式 ＋ 一般［中期］2教科方式 → 35,000+5,000+5,000 ＝ ¥45,000

一般［前期］3教科受験・最高得点教科1.5倍方式 ＋ 一般［後期］英検方式 ＋ 一般［後期］口頭試問方式 → 35,000+5,000+5,000 ＝ ¥45,000

一般［前期］3教科受験・最高得点教科1.5倍方式 ＋ 共通テスト利用入試［前期］2科目・傾斜配点方式 ＋ 共通テスト利用入試［後期］3科目・フラット配点方式 → 35,000+15,000+5,000 ＝ ¥55,000

4．英語外部検定試験の換算点

一般選抜および共通テスト利用入試では、本学の指定した英語外部検定試験で一定のスコアを換算点として利用する方式を選考方法の一つとして、実施します。取得している場合、下表のとおり、そのスコアに応じて換算点を算出します。

■ 英語外部検定試験（4技能）*1　換算表

	換　算　点								
配点が 200 点の場合	120	130	140	150	160	170	180	190	200
配点が 150 点の場合	90	97.5	105	112.5	120	127.5	135	142.5	150
配点が 125 点の場合	75	81.25	87.5	93.75	100	106.25	112.5	118.75	125
配点が 100 点の場合	60	65	70	75	80	85	90	95	100
実用英語技能検定（英検）*2	1,700 ～ 1,759	1,760 ～ 1,819	1,820 ～ 1,879	1,880 ～ 1,939	1,940 ～ 1,999	2,000 ～ 2,059	2,060 ～ 2,119	2,120 ～ 2,179	2,180 以上
GTEC（Advanced または CBT）*3	680 ～ 729	730 ～ 779	780 ～ 829	830 ～ 879	880 ～ 929	930 ～ 979	980 ～ 1,029	1,030 ～ 1,079	1,080 以上
TEAP *4	135 ～ 152	153 ～ 169	170 ～ 187	188 ～ 204	205 ～ 221	222 ～ 239	240 ～ 256	257 ～ 274	275 以上
ケンブリッジ英語検定	120 ～ 123	124 ～ 127	128 ～ 131	132 ～ 135	136 ～ 139	140 ～ 143	144 ～ 147	148 ～ 151	152 以上
IELTS（ペーパー版またはコンピューター版）*5	—	—	—	—	4.0	—	4.5	—	5.0 以上
TOEFL iBT *6	—	—	—	—	42 ～ 46	47 ～ 51	52 ～ 56	57 ～ 61	62 以上
TOEIC（L&R および S&W の合計）*7	385 ～ 455	456 ～ 526	527 ～ 597	598 ～ 668	669 ～ 739	740 ～ 810	811 ～ 881	882 ～ 952	953 以上
TOEIC Bridge（L&R および S&W の合計）*7	129 ～ 139	140 ～ 149	150 ～ 159	160 ～ 169	170 ～	—	—	—	—

＊1 英語外部検定試験の有効期間は、入学前 3 年度以内（2024 年 4 月以降に取得したもの）です。4 技能に満たない場合、利用できません。
＊2 実用英語技能検定は、「S-CBT」を含みます。
＊3 GTEC はオフィシャルスコアに限ります。
＊4 TEAP は各受験回の合計点のみ有効、複数回受験した場合でも、各技能の最高点の合算は行いません。
＊5 IELTS はアカデミック・モジュールのみ有効です。ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可とします。
＊6 TOEFL iBT は、Test Date スコアのみ利用可とし、MyBest スコアの利用は不可とします。新スコア形式となる 2026 年 1 月 21 日以降に受験した方は、スコアレポートに併記される旧スコアの数値で換算します。
＊7 TOEIC または TOEIC Bridge の場合、IP テストは不可とします。

5．調査書の利用および学内併願について

・一般選抜および共通テスト利用入試では、各領域に適した能力・適性、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを有しているかどうかを判断する材料の一つとして、出願の際に提出された「調査書」を利用する場合があります。ただし、学習成績の状況（評定平均値）を点数化したり、欠席日数を点数に換算したりすることはありません。
・複数領域を併願し、領域により配点が異なる場合は、それぞれの配点に基づき判定します。
・入学検定料の併願割引についてはP.6 を参照してください。

6．地球市民学部公共創造領域の展開（2027 年 4 月予定）について

「公共創造学環（仮称）」として構想してきた公共創造の学びは、2027 年 4 月より、地球市民学部の公共創造領域として展開します（予定）。
・「公共創造領域」は、「地域共生領域」または「ソーシャルデザイン領域」のいずれかを入口として入学した学生が、領域横断的な１・２年次の学びを通して興味や関心を深めた上で、３年次進級時に選択することができる新たな専門領域です。
・2027 年度の地球市民学部の入学者選抜は、従来どおり「地域共生領域」および「ソーシャルデザイン領域」の２領域で実施します。
・公共創造領域での学修を希望する方は、「地域共生領域」または「ソーシャルデザイン領域」のいずれかの入学試験により入学します。入学後は、履修指導に基づいて公共創造領域に関連する授業やインターンシップ科目等を履修しながら興味や関心を深め、３年次進級時に「地域共生領域」「ソーシャルデザイン領域」「公共創造領域」の中からゼミナールの領域を選択します。

一般選抜（特待入試）［前期］ 1/28

他大学併願可　学費免除　地球市民派遣優遇

1．試験教科・科目・配点

① ３教科受験・最高得点教科１．５倍方式

試験当日は３教科を受験し、以下のとおり合計点（350 点）で評価・判定します。

対象領域	教科	配　点	合計
日本文化領域 国際文化領域 文化史領域 地域共生領域 ソーシャルデザイン領域	地理歴史	３教科中、最高得点の１教科を 150 点満点（得点を 1.5 倍）、それ以外の２教科は各 100 点満点で評価	350 点
	国語		
	外国語		

※最高得点の教科が複数ある場合、以下の優先順位で 1.5 倍とします。

対象領域	優先１位	優先２位
日本文化領域	国語	地理歴史
国際文化領域	英語	地理歴史
文化史領域	地理歴史	国語
地域共生領域	英語	地理歴史
ソーシャルデザイン領域	英語	国語

② ３教科受験・高得点２教科採用方式

試験当日は３教科を受験し、以下のとおり合計点（200 点）で評価・判定します。

対象領域	教科	配　点	合計
日本文化領域 国際文化領域 文化史領域 地域共生領域 ソーシャルデザイン領域	地理歴史	受験した３教科のうち、高得点の２教科を採用し、各 100 点満点で評価	200 点
	国語		
	外国語		

③ 英検方式

英語外部検定試験の換算点に加え、試験当日は国語および地理歴史の２教科を受験し、以下のとおり合計点(350 点）で評価・判定します。

総合文化学部			
対象領域	教科	配点	合計
日本文化領域	国語	150 点	350 点
	英検換算点	100 点	
	地理歴史	100 点	
国際文化領域	英検換算点	150 点	350 点
	国語	100 点	
	地理歴史	100 点	
文化史領域	地理歴史	150 点	350 点
	英検換算点	100 点	
	国語	100 点	

地球市民学部			
対象領域	教科	配点	合計
地域共生領域	英検換算点	150 点	350 点
	国語	100 点	
	地理歴史	100 点	
ソーシャルデザイン領域	英検換算点	高得点２教科 125 点、他１教科 100 点	350 点
	国語		
	地理歴史		

※ソーシャルデザイン領域の英検換算点について、英検換算点が「高得点２教科」となる場合は、P.7 の表の「配点が 125 点の場合」に基づいて得点を計算し、「高得点２教科」でない場合は、P.7 の表の「配点が 100 点の場合」に基づいて得点を計算します。

※英語は受験不要です（英語の受験が必要な①や②の方式を併願する場合は、英語の受験が必要です）。
※英検換算点の詳細は、P.7 を参照してください。

2．①～③の方式に共通する事項

（1）出題範囲・時間・解答形式について

教科	科　目	時間	解答形式
地理歴史	『歴史総合、日本史探究』または『歴史総合、世界史探究』 ※「日本史」または「世界史」のいずれかを出願時に選択	60 分	マーク式
国語	「現代の国語、言語文化」 ※「現代文（2題）」または「現代文（1題）および古文（1題）」、どちらかを試験当日に選択	60 分	
外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ」 ※リスニングテストは実施しない	60 分	

※解答形式：全科目　マーク式
※試験当日は３つの入試方式に共通した問題を出題します。
※一般選抜（前期）について、科目ごとの基準点はなく、原則として試験科目の合計点で合否を判定します。
　ただし、「地理歴史」の選択科目において平均点の格差が大きい場合は、平均点差を考慮して合否を判定します。

（2）併願について

・一般選抜［前期］は複数の方式を併願することができます。
　各方式では、すべての学部、領域を併願することができます。
・複数領域を併願し、領域により配点が異なる場合は、それぞれの配点に基づき判定します。
・入学検定料の併願割引については P.6 を参照してください。

3．試験時間割

時　間	9:00 ～ 9:40	10:00 ～ 11:00	11:30 ～ 12:30	12:30 ～ 13:10	13:30 ～ 14:30
科　目	試験場入場	日本史または世界史（どちらか選択）	国語	昼食休憩	英語
３教科受験・最高得点教科１．５倍方式	○	○	○	○	○
３教科受験・高得点２教科採用方式	○	○	○	○	○
英検方式	○	○	○		

※３教科受験・最高得点教科 1.5 倍方式および３教科受験・高得点２教科採用方式を受験する場合は、必ず３教科を受験してください。３教科のうち１教科でも受験しなかった場合は失格となります。
※英検方式のみを受験する場合は、「英語」の受験は不要です。

4．地球市民学部「派遣優遇」について

　この入試において、地球市民学部を受験して優秀な成績を修め、且つ希望した者に「派遣優遇」の特典を付与します（合格者に応じて 10 名程度まで）。詳細は P.2 を参照してください。
　「派遣優遇」の希望は、インターネット出願時に選択してください。

5．入学金半額免除について

　この入試において正規合格者の上位 20%を上限として、入学金半額免除の特典があります。

一般選抜［中期］ 2/14 他大学併願可

1．試験教科・科目・配点

① ２教科方式

試験当日は２教科を受験し、以下のとおり合計点（200 点）で評価・判定します。

対象領域	教科	配点	合計
日本文化領域 国際文化領域 文化史領域 地域共生領域 ソーシャルデザイン領域	国語	100 点	200 点
	外国語	100 点	

② 英検方式

英語外部検定試験の換算点に加え、試験当日は国語１教科を受験し、以下のとおり合計点（250 点）で評価･判定します。

総合文化学部			
対象領域	教科	配点	合計
日本文化領域	国語	150 点	250 点
	英検換算点	100 点	
国際文化領域	国語	100 点	250 点
	英検換算点	150 点	
文化史領域	国語	150 点	250 点
	英検換算点	100 点	

地球市民学部			
対象領域	教科	配点	合計
地域共生領域	国語	100 点	250 点
	英検換算点	150 点	
ソーシャルデザイン領域	国語	125 点	250 点
	英検換算点	125 点	

※英語は受験不要です（英語の受験が必要な①の方式を併願する場合は、英語の受験が必要です）。
※英検換算点の詳細は、P.7 を参照してください。

2．①～②の方式に共通する事項

（1）出題範囲・時間・解答形式について

教科	科　目	時間	解答形式
国語	「現代の国語、言語文化」 ※現代文のみ	60 分	マーク式
外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ」または「スペイン語」 ※出願時に選択 ※リスニングテストは実施しない	60 分	英語：マーク式 スペイン語：記述式* （選択肢から選ぶ形式を含む）

＊記述式問題は、数文字程度の単語を答えさせるような短答式問題だけでなく、短文形式で答えさせるような問題も出題します。
※試験当日は２つの入試方式で共通した問題を出題します。

（2）併願について

・一般選抜［中期］は、複数の方式を併願することもできます。
　各方式では、すべての学部、領域を併願することができます。
・複数領域を併願し、領域により配点が異なる場合は、それぞれの配点に基づき判定します。
・入学検定料の併願割引については P.6 を参照してください。

３．試験時間割

時間	9:00 ～ 9:40	10:00 ～ 11:00	11:30 ～ 12:30
科目	試験場入場	国語	外国語 （英語またはスペイン語）
２教科方式	○	○	○
英検方式	○	○	

※２教科方式のみ、または２教科方式と英検方式の両方を受験する場合は、「国語」と「外国語」を受験します。
※英検方式のみを受験する場合は「国語」を受験します。「外国語」の受験は不要です。

一般選抜［後期］ 2/27 他大学併願可

1．試験教科・科目・配点

① 共通テスト（1科目）＋志望理由作文（講義参加）方式

共通テスト1科目の得点に加え、試験当日は志望学部に関する講義を受講した後に志望理由作文を作成（受験）します。
以下のとおり合計点（200点）で評価・判定します。

方　式	内　容	時間	配点	合計
共通テスト（1科目） ＋ 志望理由作文（講義参加）方式	・共通テストの国語・英語・地理歴史（『歴史総合、日本史探究』または『歴史総合、世界史探究』）の中から高得点の1科目	—	100点	200点
	・志望理由作文（講義参加）	60分	100点	

※国語は、近代以降の文章（現代文）のみを110点満点から100点満点に換算します。
英語は、リーディングおよびリスニングの合計200点満点から100点満点に換算します。
地理歴史は、『歴史総合・日本史探究』または『歴史総合・世界史探究』のいずれか100点満点で利用します。

② 英検＋志望理由作文（講義参加）方式

英語外部検定試験の換算点に加え、試験当日は志望学部に関する講義を受講した後に志望理由作文を作成（受験）します。
以下のとおり合計点（200点）で評価・判定します。

方　式	内　容	時間	配点	合計
英検 ＋ 志望理由作文（講義参加）方式	・英語外部検定試験換算点	—	100点	200点
	・志望理由作文（講義参加）	60分	100点	

※英語外部検定試験換算点の詳細はP.7を参照してください。

③ 口頭試問（個人面接）＋志望理由作文（講義参加）方式

試験当日は志望学部に関する講義を受講し、志望理由作文を作成（受験）した後、口頭試問（面接）を受験します。
以下のとおり合計点（200点）で評価・判定します。

方　式	内　容	時間	配点	合計
口頭試問（個人面接） ＋ 志望理由作文（講義参加）方式	・口頭試問（個人面接）	15～20分	100点	200点
	・志望理由作文（講義参加）	60分	100点	

2．①～③の方式に共通する事項

（1）併願について

・いずれの受験方式も同一学部内の複数の領域を併願することができます。
　複数の受験方式を併願することもできます。
・入学検定料の併願割引についてはP.6を参照してください。

（2）志望理由作文について

・試験当日、いずれかの学部の学びに関するカリキュラム説明の講義を聞いた後、志望理由を作文にまとめます。
・自分の考えを伝える力（聞く力・書く力）を測ります。

3．試験時間割

時　間	9:00 ～ 9:40	10:00 ～ 10:30	11:00 ～ 12:00	12:30 ～
科　目	試験場入場	カリキュラム説明（講義）	志望理由作文	口頭試問（個人面接、15 ～ 20 分）
共通テスト（1 科目）　＋志望理由作文方式	○	○	○	
英検　＋志望理由作文方式	○	○	○	
口頭試問（個人面接）＋志望理由作文方式	○	○	○	○

※共通テスト（1 科目）方式と英検方式については、口頭試問の受験は不要です。
口頭試問（個人面接）方式のみ、または口頭試問（個人面接）方式とそれ以外の方式とを受験する場合は、口頭試問の受験が必要です。

共通テスト利用入試［特待入試（前期）］［後期］

他大学併願可　学費免除　地球市民派遣優遇

1．共通テスト利用入試について

（1）大学入学共通テストの成績を合否判定に利用する入試です。
大学入学共通テストにおいて、志願する領域・方式に必要な科目を受験してください（P.16 ～ 17 参照）。科目が不足する場合、受験できなかったり、失格となることがあります。
（2）**本学独自の個別学力試験は行いません（本学を会場とした入学試験は実施しません）。**
（3）共通テスト利用入試では**全領域を併願**することができます。**方式を併願**することもできます。さらに、一般選抜（［前期］［中期］［後期］）とも併願が可能です。この場合、一般選抜の出願手続が別途必要です。
（4）過年度の大学入学共通テスト（大学入試センター試験）を含む成績を利用する選抜は行っておりません。

2．英語外部検定試験の利用について

・共通テスト利用入試［前期］［後期］の各方式では、共通テストの英語科目の代わりに英語外部検定試験のスコアを使用することができます。
・出願時に提出された英語外部検定試験のスコアと、共通テストの英語の換算点の高い方を合否判定に利用します。
・配点は共通テストを利用した場合と同じです。
・英語外部検定試験の合格証明書やスコアレポートについては、出願書類に同封してください。書類提出期限内に提出されなかった場合、共通テストの英語の換算点を合否判定に利用します。
・英語外部検定試験のスコアの換算点の詳細は P.7 を参照してください。スコアの提出方法については P.20 を参照してください。

3．地球市民学部「派遣優遇」について

共通テスト利用入試（特待入試）［前期］において、地球市民学部を受験して優秀な成績を修め、且つ希望した者に「派遣優遇」の特典を付与します（合格者に応じて 10 名程度まで）。詳細は P.2 を参照してください。
「派遣優遇」の希望は、インターネット出願時に選択してください。

4．入学金半額免除について

共通テスト利用入試（特待入試）［前期］の正規合格者の上位 20%を上限として、入学金半額免除の特典があります。

5．主体性評価シートについて

共通テスト利用入試では、**「主体性評価シート」**により、主体性を評価します。**提出は任意**とし、**補欠者からの繰り上げ合格発表の際にのみ、利用**します。希望者は、インターネット出願時に入力の上、A4 サイズで印刷し、提出してください。

＜入力内容＞
①本学への志望理由
②高等学校等の様々な学習活動や課外活動、各種資格・検定試験への取り組み、学校外での経験や諸活動等を通して、
A「これまでどのようなことを心掛けて取り組んできたか」および**B「本学入学後に、どのように生かしたいか」**

＜字数＞
各 200 字以内×３項目（上述＜入力内容＞ ①、②－Ａおよび②－Ｂ）

＜評価方法＞
補欠者の繰り上げ合格判定の際に、５点満点で評価し、共通テストの点数に加算します。
（評価は繰り上げ合格判定のみに使用し、正規合格判定には影響しません。）

＜評価のポイント＞
①本学への志望理由が明確かどうか。
②これまでの学習活動を振り返って次につなげる主体的な学びや、他者と協働して自らの考えを広げ深める対話的な学び等を続ける姿勢や態度が身についているかどうか。

6．利用教科・科目・配点について

方式によって下表のとおり配点が異なります。また、異なる方式に併願することもできます。

- **2科目傾斜配点方式**　：領域指定1科目 200 点、残り1科目 100 点の **300 点満点**で判定します。
  ※ソーシャルデザイン領域は、領域指定1科目 150 点、残り1科目 150 点の **300 点満点**で判定します。
- **3科目フラット配点方式**：各科目 100 点の **300 点満点**で判定します。領域ごとの必須科目はありません。
- **4科目傾斜配点方式**　：領域指定1科目 200 点、残り3科目各 100 点の **500 点満点**で判定します。
  ※ソーシャルデザイン領域は、領域指定2科目を各 150 点、残り2科目を各 100 点の **500 点満点**で判定します。
- **5科目フラット配点方式**：各科目 100 点の **500 点満点**で判定します。領域ごとの必須科目はありません。

総合文化学部

●：必須　○･▲：選択必須（○･▲印の中から1科目選択）　1･2･3･5：1･2･3･5印の中から1･2･3･5科目選択

領域	科目数	国語			英語		地理歴史・公民					数学①	数学②	理科①	理科②				情報
		近代以降の文章	古文	漢文	リーディング	リスニング	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	地理総合，地理探究	公共，倫理または公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共（2科目で1科目）	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B・数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎（2科目で1科目）	物理	化学	生物	地学	情報Ⅰ
日本文化領域	2科目	●			1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		200			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	3科目	3			3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	4科目	●			●		1	1	1	1	1	▲	▲	1	1	1	1	1	1
		200			100		(100)					100		(100)	(100)				(100)
	5科目	5			5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
国際文化領域	2科目	1			●		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		(100)			200		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	3科目	3			3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	4科目	2			●		2	2	2	2	2	▲	▲	2	2	2	2	2	2
		(100)			200		(100)					100		(100)	(100)				(100)
	5科目	5			5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
文化史領域	2科目	1			1		○	○	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		(100)			(100)		200		(100)			(100)		(100)	(100)				(100)
	3科目	3			3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	4科目	1			●		○	○	1	1	1	▲	▲	1	1	1	1	1	1
		(100)			100		200		(100)			100		(100)	(100)				(100)
	5科目	5			5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)

※指定科目数以上を受験した場合、高得点の科目を採用します。
※複数の方式や領域を併願した場合、それぞれの科目･配点に基づき選考します。

地球市民学部

●：必須　○·▲：選択必須（○·▲印の中から1科目選択）　1·2·3·5：1·2·3·5印の中から1·2·3·5科目選択

領域	科目数	国語			英語		地理歴史・公民					数学①	数学②	理科①	理科②				情報
		近代以降の文章	古文	漢文	リーディング	リスニング	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	地理総合，地理探究	公共，倫理または公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共（2科目で1科目）	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B・数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎（2科目で1科目）	物理	化学	生物	地学	情報Ⅰ
地域共生領域	2科目	1			●		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		(100)			200		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	3科目	3			3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	4科目	2			●		2	2	2	2	2	▲	▲	2	2	2	2	2	2
		(100)			200		(100)					100		(100)	(100)				(100)
	5科目	5			5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
ソーシャルデザイン領域	2科目	1			●		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		(150)			150		(150)					(150)		(150)	(150)				(150)
	3科目	3			3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)
	4科目	●			2		2	2	2	2	2	▲	▲	2	2	2	2	2	2
		150			(100)		(100)					150		(100)	(100)				(100)
	5科目	5			5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		(100)			(100)		(100)					(100)		(100)	(100)				(100)

※指定科目数以上を受験した場合、高得点の科目を採用します。
※複数の方式や領域を併願した場合、それぞれの科目·配点に基づき選考します。

出願・合格発表・入学手続について

出願について

1．出願資格

次の 1）～ 3）のいずれかに該当する女子とします。

1）高等学校または中等教育学校を卒業した者および 2027 年 3 月卒業見込みの者

2）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2027 年 3 月修了見込みの者

3）学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）および 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

①外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者

②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

③専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

④文部科学大臣の指定した者

⑤高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定を含む）に合格した者および 2027 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

⑥本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

2．出願期間・出願上の注意事項

（1）出願期間

入試区分		出願期間（Web・郵送）
一般選抜	前期	2026/12/14(月)～2027/1/19(火)
	中期	2027/1/20(水)～2/5(金)
	後期	2027/1/30(土)～2/20(土)
共通テスト利用入試	前期	2026/12/14(月)～2027/1/29(金)
	後期	2027/1/30(土)～3/5(金)

※出願締切：Web 登録は締切日の正午まで、書類郵送は締切日の消印有効です。

（2）出願上の注意事項

①**インターネット出願専用サイトで出願登録をしただけでは、正式な出願とはなりません。**必ず所定の出願期間内に、選択した支払い方法で入学検定料を納入し、後述「3．出願書類」を以下のいずれかの方法で郵送してください。

・角２封筒（速達・簡易書留）で郵送する場合、封筒の表面には志願シート等と一緒に印刷した「宛名シート」を貼り付けてください。

・レターパックプラスで郵送する場合、宛名シートを同封し（貼り付けない）、レターパックプラスの品名欄に「出願書類在中」と朱書きしてください。

②**出願後の入試制度、志望領域の変更は認められません。**

③出願書類に不備のあるものは受理しません。また、いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。

④**志願者情報入力時の注意事項**については、P.26「1．インターネット出願時の志願者情報の入力について」を確認してください。

3．出願書類

一般選抜志願者は次の（1）～（5）（(4）および（5）は該当者のみ)、**共通テスト利用入試志願者**は（1）～（6）（(5）は該当者のみ）の出願書類を、前述「2. 出願期間･出願上の注意事項」(2）出願上の注意事項 ①に従って提出してください。

※各出願書類の受験番号欄は記入不要です。

※書類の未提出に関する連絡はしませんので、提出忘れがないよう十分注意してください。

（1）宛名シートおよび志願シート（入学検定料納付後に、PDF ファイルを印刷）　一般選抜　共通テスト利用入試

・入学検定料の支払い完了後、システム側で入金が確認されると「支払い完了通知」のメールが届きます。
　本メール到着以降、マイページより宛名シート・志願シートを A4 普通紙にカラー印刷してください。
・印刷後、登録内容の誤りに気づいた場合は、入試課（TEL：03-5421-3462）まで連絡してください。

（2）写真（インターネット出願の手続時に写真ファイルをアップロード）　一般選抜　共通テスト利用入試

・上半身正面背景なしで、出願日から３か月以内に撮影したものに限ります。
・スナップ写真は用いないでください。
・**インターネット出願システムへのアップロードのみで、写真の実物を郵送する必要はありません。**
・試験当日に眼鏡を使用する場合は、写真も眼鏡を着用したものにしてください。

（3）調査書等　一般選抜　共通テスト利用入試

・**発行元において厳封されたものとします（開封されたものは無効）。**
・**提出する通数について：１通送付してください（複数日程で出願する場合でも１通で構いません）。別の入試制度で既に「調査書」等を提出済みの場合、「調査書」等の再提出は不要です。この場合、インターネット出願時に「調査書」提出済み欄で「提出済み」を選択してください。**

・高等学校･中等教育学校の卒業者、卒業見込者 ・高等専門学校第３学年の修了者、修了見込者 ・文部科学大臣が認定、または指定した在外教育施設の修了者、修了見込者	**『調査書』等** ・高等学校の第１学年から第３学年第１学期（または前期）、または中等教育学校の第４学年から第６学年第１学期（または前期）までのもの（既卒者は高校卒業後に発行されたもの）。 ・高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定を含む）合格者の場合は「合格成績証明書」、同合格見込みの者の場合は「合格見込成績証明書」を、「調査書」の代わりに提出してください。
・高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）合格者、または同見込みの者	合格者　　：**『合格成績証明書』** 合格見込者：**『合格見込成績証明書』** ※合格証明書は無効
・専修学校高等課程を修了した者、または同見込みの者	修了者　　：**『修了証明書』**および**『成績証明書』** 修了見込者：**『修了見込証明書』**および**『成績証明書』**
・外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または同見込みの者	修了者　　：**『修了証明書』**および**『成績証明書』** 修了見込者：**『修了見込証明書』**および**『成績証明書』** ※原本（卒業もしくは在籍している学校が発行し、証明した文書）を提出してください。原本を提出できない場合は、Certified true copy（原本から正しく複製されたものであることを、卒業もしくは在籍している高校または大使館・公証処等の公的機関が証明したコピー。コピーの余白に「Certified true copy」の文言と公証者のサイン・印をつけてください。なお、日本語学校は公的機関とは認められません）を提出してください。また、教育制度上、学校教育 12 年の課程を修了しても、卒業証明書、学業成績証明書に該当するものがなく、書類を提出できない場合、国家試験等の統一試験またはこれに準ずる試験の合格が大学入学資格と中等教育の卒業要件を兼ねる試験制度のある地域の出身者は、その試験の成績評価証明書とします。 ※提出すべき書類のうち、外国の学校または機関が作成する書類については、英語以外の場合は、大使館または領事館において、原本の内容と相違ないことの証明を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。 （なお、英語の場合であっても、必要に応じて書類の追加提出を求める場合があります。） ※日本の高等学校または中等教育学校に在籍した場合は、その学校在学中の『調査書』または『成績証明書』も併せて提出してください。

（4）大学入学共通テスト成績請求チケット（共通テストの成績を利用する者のみ） 一般選抜 共通テスト利用入試

一般選抜［後期］の「共通テスト（１科目）＋志望理由作文（講義参加）方式」や共通テスト利用入試に出願する場合、（１）の志願シートの所定の欄に成績請求チケットを貼付してください。
※「令和９年度共通テスト成績請求チケット（私立大学用）」を貼付してください。過年度のものは受け付けられません。

（5）英語外部検定試験の合格証明書やスコアレポート 一般選抜 共通テスト利用入試

一般選抜において英検方式に出願する場合や、共通テスト利用入試において英語外部検定試験のスコアを利用する場合、以下のとおりにしてください。
・下表の検定試験のスコアの証明書（コピー可）の内、いずれか一つを提出してください。ただし、提出された証明書は、他の出願書類同様、返却しません。
・共通テスト利用入試の場合、インターネット出願専用サイトにおいて、英語外部検定試験のスコアの利用について選択する箇所がありますので、利用する旨を選択してください。

【通数について】
・一般選抜および共通テスト利用入試を通じて、１通必要です。併願する場合は、提出済のものを流用します。
・英文・和文など複数の証明書がある場合、いずれか１種類でかまいません。
・未提出の場合、一般選抜の英検方式の受験および共通テスト利用入試でのスコア利用はできません。
未提出であることの連絡はしませんので、提出忘れがないよう十分注意してください。

【英語外部検定試験の有効期間について】
入学前３年度以内（2024 年４月以降）に、４技能で合格または取得したものに限ります。証明書の追加発行、再発行の手順については、各試験実施団体のホームページ等で確認してください。

＜英語外部検定試験＞

検定試験名（４技能）	証明書の種類
実用英語技能検定（英検）	・合格証明書（和文・英文どちらでも可） ・CSE スコア証明書 ・個人成績表
GTEC（Advanced または CBT）	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TEAP	成績表（OFFICIAL SCORE REPORT）
ケンブリッジ英語検定	合格証明書（認定書）
IELTS（ペーパー版またはコンピューター版）	成績証明書（Test Report Form）
TOEFL iBT *	Official Score Reports および Test Taker Score Report
TOEIC（L&R および S&W の合計点）	デジタル公式認定証・公式認定証
TOEIC Bridge（L&R および S&W の合計点）	デジタル公式認定証・公式認定証

＊ TOEFL iBT では、直送制度により Seisen University DI Code: 0313 を指定し、Official Score Reports の手続きを取るとともに、Test Taker Score Report を出願書類に含め、提出してください。

（6）主体性評価シート（任意提出） 共通テスト利用入試

主体性評価シートの提出（入力）は、任意です。補欠者からの繰り上げ合格発表の際のみ、点数化して評価します。
※主体性評価シートについては、P.15 を参照してください。
※補欠者については P.22 を参照してください。

【在留資格（「留学」など）を有する場合】
外国人留学生など日本国の在留資格（「留学」など）を有する方や、合格後に在留資格を取得予定の方のみ、追加書類として次の a）～ e）の５点を各１通提出してください（日本に在住する志願者本人が経費支弁者となる場合は、f）を加えた６点を提出してください）。
また、P.28「8. その他」（13）の注意事項も確認してください（出願した方は当該事項を承知したものとみなします）。

書類	備考
a） 日本国外居住者：**居所証明書**	原本。市民権等出身国の公的機関が発行するもの
a） 日本国内居住者：**住民票の写し**	原本。在留資格が明記され、出願前３か月以内に発行されたもの
b） 旅券査証の写し	顔写真のページ
c） 経費支弁書	本学所定用紙（本学公式 Web サイトからダウンロード可） 経費支弁者の自筆。黒ボールペンか黒インクのペン
d） 経費支弁者と本人との親族関係を証明する書類 経費支弁者が親族・本人以外の場合にはその続柄を示す書類	
e） 経費支弁者の預金残高証明書	志願者本人以外の者が経費支弁者となる場合のみ提出。 出願前３か月以内に発行されたもの
f） 預金通帳の写し	日本に在住する志願者本人が経費支弁者となる場合のみ提出。 直近１年間程度のもの

※提出すべき書類のうち、外国の学校または機関が作成する書類で英語以外の言語で記載されている場合は、大使館または領事館において原本の内容と相違ないことの証明を受けた日本語または英語の訳文を添付してください（なお、英語の場合であっても、必要に応じて書類の追加提出を求める場合があります）。
※必要に応じて、上記以外の書類の提出を求める場合があります。

＜出願書類送付・問い合わせ先＞
〒141-8642　東京都品川区東五反田3-16-21　清泉女子大学　入試課
TEL：03-5421-3462

4. 入学検定料

（1）入学検定料

○一般選抜…35,000 円
○共通テスト利用入試…15,000 円
・入学検定料は入試方式・領域ごとに必要です。
併願の組み合わせによっては追加 5,000 円で出願が可能です（検定料割引）。詳細は P.6 を参照してください。

（2）納入期間

①入学検定料の納入期間は Web 登録期間と同じです。期間外の納入は受け付けられませんので注意してください。
②入学検定料の納入を済ませても、所定の期日までに出願書類を提出せず、出願手続を完了しなかった場合は、受験放棄とみなし、受験することはできません。

（3）支払い方法

①インターネット出願専用サイトに登録する際に選択した支払い方法で入学検定料を納入してください。選択可能な支払い方法は、クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関 ATM（ペイジー）です。
②入学検定料の納入前に、出願情報の登録内容に誤りがあることに気づいた場合は、出願情報の登録をもう一度やり直してください。その際は、新たな支払い情報を参照して検定料の納入を行ってください。
③クレジットカード決済の場合は、出願情報登録完了の時点で決済が完了します。

（4）入学検定料の返還について

いったん納入された入学検定料は返還しません。ただし、次の事由のいずれかに該当し、2027 年 3 月 31 日（水）正午までに所定の手続を取った場合には、返還に応じます（申し出がない場合、返還しません）。
①出願資格を満たしていないなどの理由により、出願が受理されなかった。
②入学検定料を誤って二重または過剰に納入した。

合格発表・入学手続について

1．合格発表

（1）各入試制度の選考結果通知日の 15 時から、インターネット出願専用サイトのマイページで選考結果を確認できます。合格者はマイページより『入学手続要項』および所定の用紙をダウンロードし、期日までに手続きをしてください。郵送での個別通知は行いません。

（2）合否の結果に関する問い合わせには一切応じません。

（3）一般選抜［前期］および共通テスト利用入試［前期］では、正規合格者のうち上位 20%を上限として、入学金半額免除の特典があります。入学金半額免除に採用された場合、「選考結果通知書」に**「入学金半額免除採用」**と表示します。

（4）一般選抜［前期］および共通テスト利用入試［前期］において、地球市民学部の派遣優遇（P.2　地球市民学部「派遣優遇」について　参照）に採用された場合、「選考結果通知書」に「**派遣優遇採用**」と表示します。
また、入試の時点で派遣優遇に採用されなかった場合でも、入学後に各研修コースにエントリーすることができます。

（5）**一般選抜・共通テスト利用入試において、補欠者を発表する場合があります。補欠者とは、合格者ではなく、合格者の入学手続状況等により欠員が生じた場合に、入学を許可される繰り上げ合格候補者のことです。補欠者が繰り上げ合格となった場合は、（1）と同様、期日までに所定の手続きをお願いします。郵送での個別通知は行いません。**入学手続に必要な費用は、他の合格者と同じです。また、繰り上げの見込み等についての質問には一切応じません。

2．入学手続

所定の期間内に学生納付金を納め、入学手続に必要な情報を登録し、必要な書類を提出することにより、入学手続が完了します。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を放棄したものとみなします。詳細は、選考結果の通知の際に合格者に交付する『入学手続要項』（PDF ファイル）によります。

（1）学生納付金の納付期間

一般選抜［前期］	第１次	２月　４日（木）～**２月 26 日（金）**
	第２次	２月 27 日（土）～**３月　４日（木）**
共通テスト利用入試［前期］	第１次	２月 12 日（金）～**２月 26 日（金）**
	第２次	２月 27 日（土）～**３月　４日（木）**
一般選抜［中期］	第１次	２月 19 日（金）～**２月 26 日（金）**
	第２次	２月 27 日（土）～**３月　４日（木）**
一般選抜［後期］		３月　４日（木）～**３月 11 日（木）**
共通テスト利用入試［後期］		３月 12 日（金）～**３月 17 日（水）**

※入学手続期間が第１次と第２次に分かれている場合、第１次入学手続期間内に入学金を、第２次入学手続期間内に授業料・施設費・必修科目実習費（地球市民学部のみ）を納付してください。

※一般選抜［後期］･共通テスト利用入試［後期］では、入学手続期間内に入学金･授業料･施設費･必修科目実習費（地球市民学部のみ）を納付してください。

※第１次入学手続をせずに、第２次入学手続をすることはできません。

※それぞれ「締切日の金融機関収納印有効」です。

（2）入学手続情報登録および書類提出

合格者に交付する『入学手続要項』（PDF ファイル）に従って、所定の期日までに入学手続に必要な情報を登録し、必要書類を提出してください。

3．学生納付金

一般選抜［前期］および共通テスト利用入試［前期］において、正規合格者のうち上位 20%を上限として、入学金半額免除の特典があります。( ) 内の金額は入学金半額免除が適用になった場合のものです。

【初年度学生納付金】

入学手続	種別		納付額	
			総合文化学部	地球市民学部
第１次	入学金		200,000 円（100,000 円）	
第２次	全納	授業料	780,000 円	830,000 円
		施設費	390,000 円	390,000 円
		必修科目実習費	—	60,000 円
		計	1,170,000 円	1,280,000 円
	分納（前期分）	授業料	390,000 円	415,000 円
		施設費	195,000 円	195,000 円
		必修科目実習費	—	60,000 円
		計	585,000 円	670,000 円

※第 1 次入学手続期間内に入学金とともに授業料･施設費･必修科目実習費（地球市民学部のみ）を納付することもできます。
※第 1 次、第 2 次の入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった場合は、入学資格を失います。
※授業料・施設費については、2 回（入学手続時・後期（10 月））に分けて納付することができます。

【４年間の学生納付金】 ※諸事情により在学中に改定される場合があります。

総合文化学部

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
入学金	200,000 円（100,000 円）	—	—	—
授業料	780,000 円	780,000 円	780,000 円	780,000 円
施設費	390,000 円	390,000 円	390,000 円	390,000 円
計	1,370,000 円（1,270,000 円）	1,170,000 円	1,170,000 円	1,170,000 円

※授業料・施設費については、次表のとおり前期・後期の２回に分けて納付することができます。

◎分割納付の場合

【前期】（入学手続時納付額）

入学金	200,000 円（100,000 円）
授業料	390,000 円
施設費	195,000 円
計	785,000 円（685,000 円）

【後期】（10 月納付額）

授業料	390,000 円
施設費	195,000 円
計	585,000 円

地球市民学部

	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	200,000円 (100,000円)	—	—	—
授業料	830,000円	830,000円	830,000円	830,000円
施設費	390,000円	390,000円	390,000円	390,000円
必修科目実習費	60,000円	—	—	—
計	1,480,000円 (1,380,000円)	1,220,000円	1,220,000円	1,220,000円

※授業料・施設費については、次表のとおり前期・後期の2回に分けて納付することができます。

◎分割納付の場合

【前期】(入学手続時納付額)

入学金	200,000円 (100,000円)
授業料	415,000円
施設費	195,000円
必修科目実習費	60,000円
計	870,000円 (770,000円)

【後期】(10月納付額)

授業料	415,000円
施設費	195,000円
計	610,000円

4. 入学辞退

(1) 入学手続期間内に所定の入学手続をとらなかった場合は、入学を放棄したものとみなし、入学資格を失います。
(2)**「入学金」納付後**に入学を辞退する場合には、次のとおり申し出てください。

「授業料」及び「施設費」等納付**前**	・辞退することが決まり次第、辞退される旨を入試課まで申し出てください。
「授業料」及び「施設費」等納付**後**	・まず、辞退することが決まり次第、辞退される旨を入試課までメールまたは電話で申し出てください。 ・本学公式Webサイトから「入学辞退書(兼学生納付金返還請求書)」をダウンロードし、必要事項を記入の上、原則として**2027年3月12日(金)**までに提出してください。所定の手続を済ませた方には、入学金を除く学生納付金を返還します。 ・前述の期日以降であっても、**2027年3月31日(水)正午(必着)**までに「入学辞退書(兼学生納付金返還請求書)」を提出した場合は、入学金を除く学生納付金の返還に応じていますので、入試課まで申し出てください。 ・学費の返還には一定の期間を要します。

<入学辞退連絡先>
TEL:03-5421-3462、メール:admissions@ml.seisen-u.ac.jp
(平日9:30～16:30、所定の休業日を除く)

<入学辞退書提出先>
〒141-8642　東京都品川区東五反田3-16-21　清泉女子大学　入試課

5．入試成績の開示

（1）一般選抜（[前期]［中期]）の成績については、受験生本人からの申し出により、次の期間に、受験生本人に対して開示します。

＜成績開示申出期間＞ 2027 年 5 月 7 日（金）～ 5 月 14 日（金）

（平日 9:30 ～ 16:30、所定の休業日を除く）

（2）成績開示を希望する場合は、本学入試課窓口での申し込みが必要です。必ず前日までに電話で手続希望日時を相談してください。受験生本人であることを確認するため、本学入試課窓口にて**受験票**を提示してください。紛失等により受験票を提示できない場合は、原則として開示できません。また、午前申し出の場合は当日午後以降、午後申し出の場合は翌日以降の開示となります。

（3）代理人および郵送による申請・受け取りはできません。

（4）上記以外の入試は、入試成績開示の対象ではありません。

その他

注意事項

1．インターネット出願時の志願者情報の入力について

（1）氏名・生年月日は、住民票に記載されているものを入力してください。ただし、漢字は JIS 第１・２水準以外のものは使用できません。そのような場合は、代替文字を入力してください。
例）吉→吉、髙→高、﨑→崎、Ⅱ（ローマ数字）→ II（アルファベット大文字の I（アイ）を２つ）
（2）外国籍の者が通称名を用いる場合には、住民票記載の通称名に限ります。
（3）志願者の出身高等学校での進路指導の参考としてもらうために、個人名を含まない形式で各校別の情報を提供する場合があります。また、個人名を含む情報提供を許可した方については、各校における守秘を前提に、個人名を含めた形式で提供します。個人名を含めた形式での提供を許可する場合は許可を、そうでない場合は不許可を選択してください。
（4）在学中に何らかの就学上の支援を受けている場合や、健康上の問題等、受験上または入学後に配慮すべきことがある場合には、「備考」欄にできるだけ具体的に入力してください。

2．入学検定料の納付について

（1）入学検定料の納付前に、出願情報の登録内容に誤りがあることに気づいた場合は、出願情報の登録をもう一度やり直してください。その際は、新たな支払い情報を参照して検定料を納付してください。
（2）クレジット決済の場合は、出願情報登録完了の時点で決済が完了します。

3．受験票について

（1）受験票公開日になったら、インターネット出願専用サイト内のマイページよりダウンロードし、受験票を印刷の上、試験当日持参してください。
（2）受験票公開日時になっても確認できない場合は、直ちに入試課（TEL：03-5421-3462）にお問い合わせください。

4．試験場への入場について

（1）試験場の入場時刻は入試ごとに異なります。各入試の試験時間割を参照してください。
（2）試験場入口（正門）で係員に受験票を提示して入構してください。受験票を忘れたり紛失したりした場合は、係員に申し出てください。また、受験票は常に携帯してください。
（3）構内の案内に従い、試験開始時間の 20 分前までに指定された試験室に入室してください。
（4）試験室では、自分の受験番号の座席に着席してください。ただし、面接控室では座席の指定はありません。
（5）試験開始 **20 分経過後**に到着した場合は受験を認めません。

5．所持品について

（1）試験中に使用できるものは次のとおりです。「試験中に使用を認めないもの」や使用の許可を得ていないものを使用したり、身につけたりした場合は、失格となります。

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
・HB の黒鉛筆、HB 黒芯のシャープペンシル ・消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く） ・時計（計時機能のみのものに限る。辞書、電卓、通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く） ・ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬、マスク等は、試験開始前に自ら申し出て、試験監督の許可を得た場合のみ使用を認める（申し出のないまま使用していた場合は失格とします）。	・電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・携帯音楽プレイヤー・IC レコーダー・パソコン、タブレット、電子辞書、翻訳機など） ・下敷き ・耳せん ・和歌・格言などが記されている鉛筆 ・カラーペン、色鉛筆、色マーカーペン（蛍光ペンなど） ・その他、掲示や係員等から使用を禁じられたもの

※総合型選抜 10 月 1 期（課題図書方式）では、試験当日に課題図書を持ち込むことができます。
ただし、書き込みや付箋がついたものや電子書籍を持ち込むことはできません。
※地球市民学部特別入試の「ゼミ形式による授業」では、筆記用具、参考書、自作のノートなどを持ち込むことができます。
ただし、外部との通信や記録が可能な電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・携帯・音楽プレイヤー・IC レコーダー・パソコン、タブレット、電子辞書、翻訳機など）の使用はできません。
なお、「授業レポート」において使用できるものは上表のとおりとし、「ゼミ形式による授業」で配付されたレジュメや、メモなども使用できません。
※一般選抜後期の「志望理由作文」では、試験前の講義で使用した「メモ」を持ち込むことができます（メモ用紙は当日配布します）。

（２）試験当日は、胸や背中等に英文字や地図がプリントされている衣服の着用を禁止します。万一着用している場合は脱衣等を指示する場合がありますので、試験監督の指示に従ってください。
（３）受験する試験場は受験番号等によって割り当てられますが、建物、階数などによって教室の大きさや室温等の環境が異なります。また、座席の位置によって「暑い」「寒い」と感じる場合もありますので、体温調節の可能な衣服の着用をお勧めします。試験時間中にコート等を着用してもかまいません。

６．試験時間中の注意

（１）試験室内では、全て試験監督、係員の指示に従ってください。指示に従わない場合および他の受験者に迷惑となる行為があった場合、失格となり、退出してもらいます。
（２）受験票は試験監督、係員が見やすいように、机右上に置いてください。
（３）受験票のほか、前述の「試験中に使用を認めるもの」以外のものは机の上に置かないでください。
（４）携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験中にこれらをかばん等にしまわず、身につけたり手に持っていたりすると不正行為として失格となります。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。教室によっては時計がない場合や見づらい場合がありますので、時計（計時機能のみのもの）は各自持参してください。
（５）試験中、体の具合が悪くなったときは、挙手して試験監督に申し出てください。保健室には看護師が待機していますが、保健室での受験や試験時間の延長は認めません。
（６）隣席の受験者の体調不良等による入退室のため、試験監督の指示により、一時的に席を立ってもらうことがあります。
（７）試験時間中に日常的な生活騒音等（試験監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。試験監督が試験中断の指示をしない限り、解答を続けてください。
（８）以下に例示した行為をすると、不正行為として失格となります。また、不正行為の疑いがある場合には、試験監督、係員が注意または事情を聴取する場合があります。その際に要した試験時間の延長はできません。不正行為と認められた場合、失格となり、それ以降の受験はできません。また、入学検定料は返還しません。
① カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
② 使用を禁じられた用具を使用したり、身につけたりすること。
③「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたりすること。
④ 志願シートに本人以外の写真をアップロードすること。
⑤ 他の受験者に、答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為をすること。
⑥ 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。また、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑦ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン等の電子機器類を身につけていること。
⑧ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン等の電子機器類の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
⑨ 試験監督、係員等の指示に従わないこと。
⑩ 試験終了の合図、または試験監督の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
⑪ 自身を利するような虚偽の申し出をすること。
⑫ 試験室等において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑬ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

（９）答案が完成しても、試験が終了するまで途中退室はできません。途中退室した場合は、欠席扱いとなります。試験監督が指示してから退室してください。

７．面接について（一般選抜後期のみ「面接」を「口頭試問」と読み替えてください。）

（１）面接は、原則として、領域別（専攻言語別）・受験番号順に実施します（入試運営都合により、調整する場合があります）。
（２）面接時間割は試験当日に配付します。
（３）面接時間に変更が生じる場合がありますので、指定時間の 20 分前には、面接控室で待機するようにしてください。
（４）面接控室では私語を慎んでください。
（５）携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。これらをかばん等にしまわず、身につけたり手に持っていたりすると不正行為として失格になります。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。
（６）面接控室から各面接室には係員が誘導します。
（７）面接室に移動する際は荷物を携帯してください。面接終了後に面接控室へ戻ることはできません。面接終了後はすみやかに帰宅してください。
（８）面接終了後、他の受験生と接触したり、試験内容を伝えたりすることを禁止します。

８．その他

（１）試験場の下見はできません。
（２）試験当日、受験生以外の入構はできません。
（３）駐車場および駐輪場は用意していませんので、公共の交通機関を利用してください。
（４）上履きを持参する必要はありません。
（５）大学構外への外出は試験終了まで認めません。試験当日、食堂は営業していませんので、昼食が必要な場合は各自持参してください。
（６）受験者は、全ての試験を受験しなければなりません。必要な試験をすべて受験しなかった場合、失格となります。
（７）試験当日は、必ずこの入試要項を持参し、必要事項を再確認してください。
（８）志願者により面接終了時刻は異なります。面接は原則として受験番号順に行います（入試運営都合により、調整する場合があります）。帰宅時の交通機関の出発時刻等に制約がある場合は、早めの出願をお勧めします。
（９）試験場に忘れ物をした場合は、入試課に申し出てください。半年間経過しても持ち主の申し出がない場合は処分します。
（10）出願書類は、いかなる理由があっても、返却しません。
（11）地震、台風、大雪等による大規模な自然災害が発生した場合や、交通機関の遮断または大幅なダイヤの乱れ等が発生した場合、各種感染症が拡大した場合など、入学試験実施に影響を及ぼす事態が生じた場合は、試験開始時刻の繰り下げ（試験終了時刻の変更や、試験時間の確保を目的とした休憩時間等の調整を含む）や、試験日時の変更等の措置をとる場合があります。
それらの措置によって生じた負担等については、本学はその責任を負いません。
対応措置については、本学公式 Web サイトで随時お知らせします。
清泉女子大学公式 Web サイト　▶ https://www.seisen-u.ac.jp/
（12）**学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項**
試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験できません（この場合、原則として追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません）。ただし、症状により医師等において伝染の恐れがないと認めたときは、この限りではありません（要診断書・事前連絡）。
（13）外国人留学生など、日本国の在留資格（「留学」など）を有する方や、合格後に在留資格を取得予定の方へ
入学日において有効な在留資格を有していることを証明する書類を、入学日（毎年４月１日）の前日（当該日が日曜日の場合は、その前日）の正午までに提出してください。期限までに提出できない場合は、入学できません。
なお、本学は法令に基づき必要な在籍管理を行いますが、在留資格の取得、更新および管理については本人の責任において行うものとします。

各種お知らせ

個人情報の取扱いについて

氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験の実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、ならびにこれらに付随する事項を行うために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータを、清泉女子大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。入学者については、当該個人情報および入試成績の一部を、入学後の学生相談・指導等に利用する場合があります。

学内奨学金制度について

学業をサポートするために、各種奨学金制度を設けています。詳細については、以下を確認してください。
▶ https://www.seisen-u.ac.jp/campuslife/about/expense/scholarship.html

学園募金について

入学後に学園募金の募集を行います（１口５万円）。ただし、本寄付金への応募は任意です。

学生納付金減免制度・奨学金制度（外国人留学生対象）

本学では、外国人留学生を対象として、学生納付金減免制度および奨学金制度（国際交流基金）を設けています。学生納付金減免制度は、経済的理由により修学が困難であると認められる私費外国人留学生を対象とし、奨学金制度は、経済的理由により修学が困難であると認められ、学業成績が優秀であり、かつ、本学学生との交流に貢献すると認められる外国人留学生を対象としています。なお、いずれの制度も募集は入学後に行います。募集の告知は掲示等により行います。

お問い合わせ先

清泉女子大学　入試課
〒141-8642　東京都品川区東五反田3丁目16番21号
TEL：0120-53-5363 ／ 03-5421-3462（平日 9:30 ～ 16:30、所定の休業日を除く）
メール：admissions@ml.seisen-u.ac.jp

清泉女子大学